

授業科目	*在宅看護学				単位	2		
履修	必修	関連資格	高一種免(看護) 養教一種免		ナンバリング	NU21401J		
開講年次	3	開講時期	前期	該当DP	DP1-2 DP2-1 DP3-2			
担当教員	石井 美紀代、吉原 悦子							
授業概要	<p>【実務家教員担当科目】</p> <p>実務家教員として、病院看護師または市町村保健師での看護活動の経験をふまえて講義を行う。内容は、医療・看護をとり巻く社会情勢の変化に伴い、在宅看護が必要とされる背景、継続看護、在宅看護の目的と機能・役割を解説する。また、在宅療養者の健康状態・生活状況の多様性を理解した上で、療養者と家族を1単位とした看護を提供できるための知識を修得し、対象の自立・自律を促す看護の責任を考える。さらに、国の推進する地域包括ケアシステムの構築で、看護に期待されている役割を考え、多職種と連携・協働のあり方を考える。</p>							
学生が達成すべき行動目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 医療・看護をとり巻く社会情勢から在宅看護が必要とされる背景を知り、在宅看護にかかわる施策・制度を説明できる。 2. 継続看護について説明できる。 3. 在宅看護に活用できる家族理論の概要を述べることができる。 4. 在宅療養に対して安全・安楽な看護および自立を支援する看護の役割について説明できる。 5. 看護専門職として、療養者の居宅に1人で訪問する責任を考え、自分の言葉で述べるができる。 6. 地域包括ケアシステムの概要を説明できる。 7. 保健・医療・福祉サービスを整理し、療養者と家族を支えるために多職種・多機関と連携する必要性を理解する。 							
達成度評価								
評価と評価割合／ 評価方法	試験	小テスト	レポート	発表(口頭、プレゼンテーション)	レポート外の提出物	その他	合計	備考
総合評価割合	40	40	20	0	0	0	100	
知識・理解 (DP1-1)								
知識・理解 (DP1-2)	15	15					30	
知識・理解 (DP1-3)								
知識・理解 (DP1-4)								
思考・判断 (DP2-1)	15	15	15				45	
思考・判断 (DP2-2)								
関心・意欲 (DP3-1)								
関心・意欲 (DP3-2)	10	10	5				25	
態度(DP4-1)								
態度(DP4-2)								
態度 (DP4-3)								
技能・表現 (DP5-1)								
技能・表現 (DP5-2)								
技能・表現 (DP5-3)								
具体的な達成の目安								
理想的レベル				標準的なレベル				
<p>標準的なレベルの知識、思考、関心、態度を修得した上で、これらをより詳細に表現できる。具体的には、</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 医療・保健・福祉分野の社会問題を例に挙げ、それらに対する公的なサービスの限界を述べられる。 2. 地域包括ケアシステムが必要になった背景を調べ、システム構築の課題が述べられる。 				<ol style="list-style-type: none"> 1. 医療・看護をとり巻く社会情勢から在宅看護が必要とされる背景を知り、在宅看護にかかわる施策・制度を説明できる。 2. 継続看護について説明できる。 3. 在宅看護に活用できる家族理論の概要を述べるができる。 4. 在宅療養に対して安全・安楽な看護および自立を支援する看護の役割について説明できる。 				

3. 在宅療養における生活上の困りごとを例示し、それを支える保健・医療・福祉サービスの連携を図式化できる。		5. 看護専門職として、療養者の居宅に1人で訪問する責任を考え、自分の言葉で述べるができる。 6. 地域包括ケアシステムの概要を説明できる。 7. 保健・医療・福祉サービスを整理し、療養者と家族を支えるために多職種・多機関と連携する必要性を理解する。		
授業計画				
進行	テーマ・講義内容	授業の運営方法	学習課題(予習・復習)	予習・復習時間(分)
1	テーマ:在宅看護の背景と基盤(石井・吉原) 在宅看護の背景 /在宅看護の基盤 /在宅看護の基本理念(Text 第1章)	講義	復習:講義内容の復習	60
2	テーマ:在宅療養の成立要件(石井・吉原) ・訪問看護の基本理念(Text 第1章) ・在宅看護の対象・成立要件(Text 第2章)	講義	復習:講義内容の復習	60
3	テーマ:訪問看護の制度と基準(石井・吉原) ・訪問看護ステーションの開設基準(Text 第5章) ・訪問看護の対象と保険の種類(Text 第4章)	講義	予習:医療保険/介護保険制度の訪問看護制度を調べる 復習:講義内容の復習	60
4	テーマ:療養の場の移行に伴う看護(吉原・石井) ・継続医療、継続看護、入退院支援、地域包括ケア病棟(Text 第3章)	講義	予習:教科書第3章を読む 復習:講義内容の復習	60
5	テーマ:在宅療養におけるケアマネジメント(石井・吉原) ・ケアマネジャーの業務 ・ケースマネジメント/ケアマネジメント(Text 第3章)	講義	予習:介護保険サービスの種類を理解しておく 復習:講義内容の復習	60
6	テーマ:在宅看護介入の時期別特徴(吉原・石井) ・在宅療養準備期～安定期	講義	予習:慢性疾患の特徴をまとめる 復習:講義内容の復習	60
7	テーマ:地域包括ケアシステムにおける多職種連携(吉原・石井) ・地域包括ケアシステム(Text 第3章) ・サービス提供機関 / 地域包括支援センター/多職種連携	講義	予習:地域包括支援センターの業務 復習:講義内容の復習	60
8	テーマ:日常生活における安全管理(石井・吉原) ・家屋内で起きる事故(Text 第6章) ・看護ケアのリスク(医療・療養上の世話)	講義	予習:教科書の第6章を読む 復習:講義内容の復習	60
9	テーマ:日常生活を支える看護技術(石井・吉原) 在宅における援助技術(Text 第7章)	講義	予習:生活看護技術の基本を確認してくる 復習:講義内容の復習	60
10	テーマ:在宅看護における療養指導(石井・吉原) 在宅における患者指導	講義	予習:健康教育論で学んだ理論を確認する 復習:講義内容の復習	60
11	テーマ:在宅療養を必要とする小児の看護(石井・吉原) 小児医療の現状 / 小児の在宅療養支援	講義	予習:小児の発達(0歳～15歳)を憶える 復習:講義内容の復習	60
12	テーマ:在宅ターミナルケアと看取り(石井・吉原) 在宅での緩和ケア、看取り、グリーフケア	講義	予習:「ターミナル」の定義をまとめる 復習:講義内容の復習	60
13	テーマ:在宅での医療ケアと危機管理(石井・吉原) 在宅における医療行為(Text 第7章) 災害に備える危機管理(Text 第6章)	講義	予習:リスクマネジメントとは、について調べる 復習:講義内容の復習	60
14	テーマ:在宅看護の課題と展望(石井・吉原)	講義 まとめ	予習:これまでの講義を振り返る	60

15				
16				
17				
18				
19				
20				
21				
22				
23				
24				
25				
26				
27				
28				
29				
30				
理解に必要な予備知識や技能	在宅看護学は、「看護実践の統合」に位置付けられています。在宅看護を考えるには、基礎看護学、小児看護学、母性看護学、成人看護学、老年看護学、精神看護学での、既習の知識と技術が必要です。			
テキスト	在宅看護論① 地域療養を支えるケア(メディカ出版)			
参考図書・教材／データベース・雑誌等の紹介	授業中に紹介する			
授業以外の学習方法・受講生へのメッセージ	在宅看護学の対象は、全ライフステージです。また、療養者のご自宅や環境に合わせた看護を考えます。そのため、基礎看護学や各看護学で学んだ内容が基盤です。考えること手間を惜しまないで受講してください。※授業の進行によっては、講義の順番を入れかえることがあります。			
達成度評価に関するコメント	試験・レポートの内容については、授業中に指示します。			

